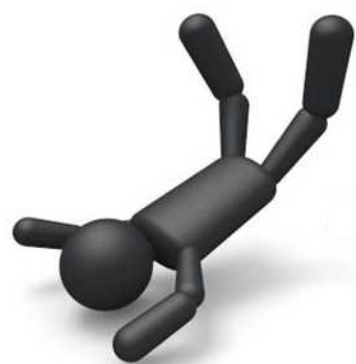




勉強につまずき始めるのは、中学生から

小学生のころの勉強は、基本が中心でした。少し勉強すれば、すぐ理解でき、成績もすぐ上がっていました。少しくらいサボっても、一生懸命に勉強すれば、すぐ追いつくことができました。

しかし、中学生になると、そうもいかなくなります。勉強につまずき始めるのは、中学生からです。中学生になると、基本的な内容は卒業し、奥の深い勉強が始まります。応用問題もたくさん出てきます。

多くの中学生が、ここでつまずくのです。

小学生のころは、誰もが同じような成績でしたが、中学生になると、だんだん差がで始めます。中学生は、知識の積み重ねで、勉強が進んでいきます。基本がわかっていないと、授業についていけなくなります。一度ついていけなくなると、どんどん取り残されていくだけです。その結果「できる」と「できない」という差がつきやすいのです。

大切なことは、わからない問題があったとき、どうするかです。「何とかなるだろう」と思っているだけでは、なんともなりません。本当にわからないままになり、余計に自分を苦しめるだけです。ある程度、ほっておくと、本当に追いつけなくなります。心がけるべきは、わからないところをつぶす習慣です。

- わからないところがあれば
- ・授業が終わった後、先生に聞きましょう
 - ・わからない問題は、解説をよく読みましょう
 - ・理解できないところは、早めにクリアにしましょう

その積み重ねが、これからの差になります。

3年生のスタートに当たって、つまずいたままほっておくのか、わからないところをつぶしていくのか。

決めるのは「あなた」です。すぐには追いつきませんが、1年後は変わるはずですよ。

「あなた」を変えるのは「あなた」自身です。



中学生・高校生で思い描いていた将来

200人ほどの大人の方に

「皆さんは、高校生の頃に思い描いていたキャリアを歩まれていますか？」

この質問をしましたが、思い描いていたキャリアを歩まれている人はわずか1%。ほとんどの方は、学生の頃には想像だになかった人生を歩まれているようです。



なぜ、思い描いていたキャリアを歩まなかったんでしょう？

- ・〇〇を目指し、努力したけれど、なれなかった。だから違うことにチャレンジした……。
- ・☆☆を目指し、努力して目標は達成した。けれど、それが思い描いていたことと違ったので、別のことにチャレンジした……。
- ・■■を実現するには□□しかないと思っていたけれど、違ったアプローチもあることを知った……。
- ・自分は★★に関心があると思っていたけれど、▲▲よりも△△に、もっと関心を持つようになった……。
- ・▼▼だけでなく、△△や●●にも関心があるので、最初は■■1本に絞ろうと思っていたが、△△・☆☆も、していきたい……。

など、いろんな理由があると思います。

挫折したり、迷ったり、試行錯誤したりしながら“仮の結論”を出し、行動しては立ち止まって振り返り、新たな自分の一面を発見したり、自己変容を感じたり、

「自分がこれからも大切にしたい価値観は何か？」 「自分はどう生きていきたいのか？」

を考えながら、展望を開いていく……。というプロセスそのものに学びがあり、価値があります。ただ、これも「探究」には“深さ”の違いがあります。自分を深掘りしなかったり、情報収集が足りなかったり、選択肢を吟味しなかったりすると、浅い「探究」になってしまいます。

では、皆さんが進路を考える際、どうすればよいのでしょうか？

「予測不可能な社会」と叫ばれるようになってから、今までに無かった職業があり、自分は何をしたいのか悩んでいる人は、以前より増えた気がします。

誰かに「教えてもらう」のではなく、いろいろなことに関心を持って、「問い」をぶつけながら、「進路探究」しましょう。「問い」によって、ハッとしたり、視野が広がったり……。先生たちと一緒に、このプロセスをそして皆さんの変容を感じて先生たちは「進路」を決めるサポートをしたいと思っています。



探求[たんきゅう]：物事を手に入れようとして探し求めること。探索。探究